



2018年8月17日

各 位

会社名 北川精機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 内田雅敏
 (コード:6327、東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画室長 内田浩靖
 (TEL:0847-40-1200)

中期経営計画の策定について

当社は、2019年6月期から2021年6月期までの3年間の中期経営計画を策定いたしました。その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画の振り返り

当社グループは、2015年8月に公表いたしました前中期経営計画「新領域へのチャレンジ～新たなKITAGAWAの確立～」の下、「真空プレス技術の新分野・新市場への拡大・浸透」「収益力強化と価格競争力向上による強固な経営基盤の確立」「活力溢れる組織の実現」の3つの重点項目を柱として、「新たなKITAGAWA」を確立するための各種施策に全社を挙げて取り組んでまいりました。

前計画期間であった3年間の事業環境は、プリント基板業界を主導してきたスマートフォンの出荷台数が頭打ちとなり、台数増に応じた生産設備需要が減退するなど、必ずしも順風ではありませんでした。しかしその一方で、自動車市場では従来の電装化に加えHV化・EV化の潮流により車載用基板の需要が拡大し、スマートフォン市場においても新技術・新材料をベースとする新たな基板への需要が高まりました。この市場の変化に対応する設備投資需要を着実に取り込むことにより、前中期経営計画の最終年度である2018年6月期の連結経営成績は、売上・利益の全項目において当初目標値を上回る結果となりました。

《最終年度(2018年6月期)連結業績》

(単位:百万円)

	目 標	実 績	達成率
売 上 高	4,950	4,977	100.5%
営 業 利 益	340	481	141.5%
経 常 利 益	270	478	177.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	220	270	122.7%

2. 新中期経営計画の基本方針

当社を取り巻く今後 3 年間の事業環境は、プリント基板業界における構造変化が一層進み、スマートフォン分野は当面主要な位置を占めるものの、自動車分野における自動運転を始めとする技術革新、IoT 時代の到来、次世代通信 5G の本格稼働などにより、新たな成長機会が現れるものと考えております。

このような状況で始まる 3 年間に於いて、基本的な方針は前計画を引き継ぎながらも、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に新たな市場の動きを捉えて事業化を目指すとともに、将来に向けて安定的・持続的な成長基盤を整備することを目標として、新中期経営計画を策定いたしました。

革新と創造への挑戦 ～ 独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～

- (1) 独自コア技術の新分野・新市場への積極展開
 - ・ 当社のコア技術である温度・圧力・真空・動作の制御技術を未進出の成長分野に浸透させ、将来の収益の柱となる新事業を開拓する。
- (2) 徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品／サービス品質の向上
 - ・ 生産性の向上により、採算改善と納期短縮を実現し、競争力を強化する。
 - ・ 顧客視点での品質改善を徹底することにより、市場での信頼を更に高める。
- (3) 創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り
 - ・ 「独創的発想力」「困難へ挑戦する行動力」「コミュニケーション力」を重視し、環境変化に柔軟に対応できる企業風土を醸成する。
 - ・ 計画的な人材教育により、技能継承と若手の早期育成を実現する。

3. 新中期経営計画の数値目標（連結ベース）

（単位：百万円）

	2018年6月期 実績	2021年6月期 目標	増減率
売上高	4,977	5,500	+10.5%
営業利益	481	540	+12.3%

以上